

## 2025 年度 第 4 回理事会議事録

- I. 会議名 : 2025 年度 (公社) 日本地すべり学会 第 4 回理事会  
 II. 開催日時 : 2026 年 3 月 6 日 (金) 14 時 30 分～17 時 00 分  
 III. 開催場所 : TKP新橋汐留カンファレンスセンター カンファレンスルーム5A  
 (WEB 会議を併用したハイブリッド方式)  
 IV. 出席者 : 理事出席 16 名, 監事出席 2 名, その他 6 名  
 (“W” は Web 参加)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
理事	浅野 志穂	○	理事	岡田 康彦	○W	理事	杉本 宏之	○
理事	新井場 公德	○W	理事	笠井 美青	○W	理事	堤 大三	○
理事	飯沼 達夫	○	理事	加藤 猛士	○	理事	中村 真也	×
理事	石丸 聡	○W	理事	木村 一成	○W	理事	林 一成	○
理事	稲葉 一成	○W	理事	佐藤 剛	×	理事	古谷 元	×
理事	今泉 文寿	×	理事	佐藤 浩	○	理事	森口 周二	○W
理事	王 功輝	○W	理事	柴崎 達也	○	(理事 16 名, 定足数 11 名)		

監事	竹下 航	○	監事	木村 勝美	○W	(監事 2 名)		
----	------	---	----	-------	----	----------	--	--

事務局	鈴木 英則	○	総務部	藤元 亮	○	役員候補者 推薦委員会	平松 晋也	○W
選挙管理 委員会	野田 翔平	○W	斜面对策技術 国際化委員会	榎田 充哉	○	事業 計画部	茂木 俊	○W
(その他 6 名)								

○理事会開催時における理事の出席数は 15 名。定足数 11 名 (理事の過半数) を満たし理事会は成立。開催時に出席理事の通信確認を行った。

佐藤浩理事は、報告事項-1 の途中より参加 (出席理事 16 名)。

出席者の都合および議事の内容により、一部の議題の順序を入れ替えて、審議・報告を行った。

○議事録署名人は、浅野会長、竹下監事、木村監事。

### <議長あいさつ>

浅野会長が開会のあいさつを行った。

## 議題Ⅱ．報告事項

### 1. 2026・2027 年度役員候補者推薦委員会報告

平松役員候補者推薦委員長より，2026・2027 年度役員候補者推薦委員会報告についての説明がなされた。また，将来的な会長の選任を見据えて，副会長・専務理事を選任する考え方もあるのではないかという意見が出された。

- ・ 理事，監事からの意見は，特になかった。

### 2. 2026・2027 年度（公社）日本地すべり学会役員選挙結果

野田選挙管理委員長より，2026・2027 年度（公社）日本地すべり学会役員選挙結果についての説明がなされた。

- ・ 理事，監事からの意見は，特になかった。

## 議題Ⅰ．審議事項

### 6. 斜面对策技術国際化委員会の研究調査報告書の公開方法

榎田斜面对策技術国際化委員長より，斜面对策技術国際化委員会の研究調査報告書の公開方法（学会 HP で公開（無償）を提案），引用している図表の転載許可申請の進め方と委員会活動期間の延長についての説明がなされた。説明後の理事，監事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 海外の出版社への転載許可の際，有償となる場合もある。有償となった場合，どのように対応する予定か。  
→金額によってであるが，高額（万単位）の場合は，転載を取りやめる方針で考えている。
- ・ 公開にあたって，期間を設けて会員限定とする等を想定しているか。  
→学会誌（J-STAGE）は，1 年間は会員限定としていることも考慮し，会員優遇の観点から検討したい。
- ・ 研究調査報告書を引用しようとした場合，学会員だけの期間は，引用できない問題もあると思われる。委員会として，どのように使ってもらうことを想定しているか。  
→広く知ってもらおうということ目的としているため，この観点でいうと限定しないという方針も考えられる。
- ・ アクセス制限を行うかについては，委員会での今後の検討結果に委ねることとする。
- ・ 斜面对策技術国際化委員会の研究調査報告書の公開方法について，審議の結果，賛成 16，反対 0 票で承認された。

## 8. 第 66 回研究発表会および現地見学会運営の担当支部

茂木事業計画副部長，稲葉理事より，第 66 回研究発表会および現地見学会運営の担当支部（新潟支部が主体となり事業計画部と協働）についての説明がなされた。

- ・ 第 66 回研究発表会および現地見学会運営の担当支部についての審議の結果，賛成 16 票，反対 0 票で承認された。

（以下，次年度の事業計画・予算に関わる議事を先に実施）

## 7. 能登半島地震災害対応委員会の活動期間延長

杉本理事より，能登半島地震災害対応委員会の活動期間延長についての説明がなされた。説明後の理事，監事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 最終的な活動成果はどのようなものを想定しているか。  
→報告書を出すとともに，活動報告会を行う予定である。最終的な活動報告会は，次年度の 4 月以降となる可能性もあると考えている。
- ・ 能登半島地震災害対応委員会の活動期間延長についての審議の結果，賛成 16 票，反対 0 票で承認された。

## 1 2. 職員の給与改定および職員俸給細則の改定

林理事より職員の給与改定および職員俸給細則の改定についての説明がなされた。説明後の理事，監事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 細則の「総務部長が認め理事会に報告された場合」の部分は，特定の役職に責任が集中することを避けるため，現行の「理事会にて承認された」ままの方がよいのではないか。  
→個人のプライバシーの配慮も必要である。これについて運用面で配慮する方針とし，細則は現行のままとする方針としたい。
- ・ 職員俸給細則については現行のままとして，職員の給与改定についての審議の結果，賛成 16 票，反対 0 票で承認された。

## 1. 2026 年度事業計画

林理事より，2026 事業計画についての説明がなされた。説明後の担当理事からの下記の補足説明，意見があった。

- ・ 佐藤浩理事（国際部）：今年度の研究発表会において，英語セッションを設けたが，聴講者が少なく，発表した海外留学生が孤立するといった状況が見られたため，次年度は，国際交流に関連する研究を織り交ぜる等の工夫を行う予定である。
- ・ 森口理事（東北支部）：支部若手～中堅会員を対象とした「斜面変動研究ワーキング」

を実施、成果は支部内（研究発表会、HP等）で発信・共有する予定である。

- ・ 加藤理事（会員数対策）：BIM/CIM ネットワークの研修会について後日参加したかったという意見が多くあったため、ネットワークで広報方法について検討していきたい。
- ・ 柴崎理事（アウトリーチ）：HP内容の更新及び情報の充実が予定されているため、HPを活用して新たに発信するような取り組みを行っていきたい。
- ・ 2026年度事業計画についての審議の結果、賛成16票、反対0票で承認された。

## 2. 2026年度収支予算

林理事より、2026年度収支予算についての説明がなされた。説明後の理事、監事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 2026年度の収支予算では600万円超の赤字であるが、前年度の収支予算からは100万円超の赤字の圧縮となる。例年、決算では予算よりも費用が抑えられる傾向があり、決算においては収支バランスを極力改善することを目指す。
- ・ 収支予算書の計算間違いについては、昨年度もあったが、チェック機能の強化を検討した方がよいのではないかと。  
→チェック機能の強化を検討するようにしたい。
- ・ 収支のほか、資産目録についての整理も重要であり、資産を基に、学会発展のためにどのように事業計画を立てていくかという議論も必要と思われる。
- ・ 資産を踏まえ、収支を改善していく必要がある、受託業務を受ける取り組みが必要、部・支部のイベントでの収支を確保するなどの議論も必要と思われる。  
→ご指摘を踏まえ、資産について分かりやすく整理するようにしたい。
- ・ 2026年度収支予算についての審議の結果、賛成16票、反対0票で承認された。

## 3. 2026年度資金調達及び設備投資の見込

林理事より、2026年度資金調達及び設備投資の見込（いずれも見込みはないこと）についての説明がなされた。

- ・ 2026年度資金調達及び設備投資の見込についての審議の結果、賛成16票、反対0票で承認された。

## 4. 2026・2027年度社員総会・理事会日程

林理事より、2026・2027年度社員総会と理事会の日程についての説明がなされた。

- ・ 2026・2027年度社員総会と理事会の日程についての審議の結果、賛成16票、反対0票で承認された。

## 5. 2026年度社員総会の日時・形態・場所・議題

林理事より、2026年度社員総会の日時・形態・場所・議題についての説明がなされた。

- ・ 2026年度社員総会の日時・形態・場所・議題についての審議の結果、賛成16票、反対0票で承認された。

## 9. 広報委員会の新設

飯沼副会長より、広報委員会の設置（将来の設置）についての説明がなされた。説明後の理事、監事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 広報委員会の活動内容は、これまでも対応していたように思われるが、どこで対応していたのか。  
→総務部で対応していた。広報委員会が設置されたときには、関連する細則の改定が必要となる。
- ・ SNSの活用も考えられるため、支部の若手に入って頂くのがよいと思われる。検討頂きたい。  
→広報委員会を新設することを見据えた準備委員会を設け、支部の若手の参加も進める方針とする。
- ・ 広報委員会の新設の準備を進めていくことについての審議の結果、賛成16、反対0票で承認された。

## 10. 土砂災害緊急調査細則の改正

新井場専務理事より土砂災害緊急調査細則の改正方針についての説明がなされた。5月の理事会で諮る予定であり、継続審議とさせていただきたい旨の説明がなされた。

### 11. 国内旅費細則の改定

林理事より、国内旅費細則の改正についての説明がなされた。

- ・ 国内旅費細則の改定についての審議の結果、賛成16、反対0票で承認された。

### 13. 入退会者状況

鈴木事務局長より入退会者状況についての説明がなされた。

- ・ 入会者についての審議の結果、賛成16票、反対0票で承認された。

## 議題Ⅱ．報告事項

### 3. 2025年最近の地すべり・土石流災害調査報告会

柴崎理事（研究調査副部長）より、2025年最近の地すべり・土石流災害調査報告会についての説明がなされた。

- ・ 理事，監事からの意見は，特になかった。

### 4. 2025年度日本地すべり学会海外研究者による講演会

佐藤浩理事より、2025年度日本地すべり学会海外研究者による講演会についての説明がなされた。

- ・ 理事，監事からの意見は，特になかった。

### 5. 2025 ICL 運営会議

佐藤浩理事より、2025 ICL 運営会議についての説明がなされた。

- ・ 理事，監事からの意見は，特になかった。

### 6. WLF7 開催のお知らせ

佐藤浩理事より、7th World Landslide Forum (WLF7) 開催のお知らせについての説明がなされた。

- ・ 理事，監事からの意見は，特になかった。

### 7. 三役活動報告

第3回理事会の報告資料の修正版が示された。

- ・ 理事，監事からの意見は，特になかった。

以上

議事録署名人 会長 浅野 志穂 ⑩

議事録署名人 監事 竹下 航 ⑩

議事録署名人 監事 木村 勝美 ⑩